

§ 子ども×島の未来×本気 高校魅力化プロジェクトを考えるアンケート結果

2020/11/14

1・2、参加区分と居住地

区分	1 知名町	2 和泊町	3 その他	総計
1 中学生	1	1		2
2 高校生	9	12		21
3 保護者	6	3		9
4 教育関係者	8	10		18
5 議員	7	6		13
6 役場職員	13	10	1	24
7 その他	2		1	3
総計	46	42	2	90

居住区 その他は、与論町と奄美群島広域事務組合

参加区分その他は、塾講師

3、講演内容について

①公営塾について

区分	1 興味がある	2 興味がない	3 わからない	総計
1 中学生	2			2
2 高校生	13	2	6	21
3 保護者	9			9
4 教育関係者	18			18
5 議員	13			13
6 役場職員	22		2	24
7 その他	3			3
総計	80	2	8	90

②地域学or島ゼミについて

区分	1 興味がある	2 興味がない	3 わからない	総計
1 中学生	1		1	2
2 高校生	16	1	4	21
3 保護者	9			9
4 教育関係者	16		2	18
5 議員	13			13
6 役場職員	23		1	24
7 その他	3			3
総計	81	1	8	90

③島留学について

区分	1 興味がある	2 興味がない	3 わからない	総計
1 中学生	2			2
2 高校生	19		2	21
3 保護者	9			9
4 教育関係者	11		7	18
5 議員	13			13
6 役場職員	22		2	24
7 その他	3			3
総計	79		11	90

4、中学生以下の参加者へ（一名は保護者の回答）

①沖高への進学予定

する	2
しない	0
わからない	1

②沖高に導入してほしい事業について

公営塾	2
地域学・島ゼミ	2
島留学	2

5、自由意見

意見内容
島留学などを実際に取り入れてみれば、島も活性化するのではないか？
高校の魅力化＝島の魅力化ということが分かった。 両町、高校が連携して実現できることを願います。
「教育に力を入れる自治体には人は集まる」 両町で力を合わせる事が重要。 「大人の在り方」が問われているということが心にしみた。
島に一つある高校が仕方なくではなく、魅力を持てるように変わってほしい。 日本全国、都市部からも来てもらえるような仕事をつくっていただき、 帰ってこれる島、帰りたくなる島づくりを行ってほしい。 それによって地域課題である人口減少に手を打つことができるのではないか。
高校の魅力化が地域の活性化につながることに大変興味を持った。 知名・和泊が協力し合い、ぜひ実現につなげてほしい。
沖高の生徒減少は緊急な課題だと思います。 高校、自治体、教育委員会、生徒、保護者の全員が協力して進めるべきなので 同じ話を聞ける機会があってよかったです。
教育の大切さを改めて痛感しました。 原点に戻ってモチベーションを上げる素晴らしい機会となった。
20年前に沖高を卒業しました。 創立70周年を迎え、在校生の数も減少し寂しい気持ちになりましたが、 今回のプロジェクトによって生まれ変わる沖高を楽しみにしています。 卒業生や地域の方々もうまいこと、このプロジェクトにかかわることで 持続性のある事業を創りたいです。
看護師をしています。 医療の場でも人材不足が深刻で、看護師は特に島外から派遣された方々で 成り立っています。その一方で多くの課題があり、島出身の常勤者が必要です。 島出身の看護師や技術者はたくさんいるため、今の子供達にはいずれは島に 帰りたいたいと思ってもらう関わりが必要だと思っています。 一人の看護師として自分にできることは何か、日々考えて実行していきたいです。 今回の講演で想いが強くなりました。
講演に参加したことで、特に全国から高校生を募集していることを知り、 驚きました。紹介された高校に行きたくなりました。 大学受験でも「自分で考えて動く力」が求められているということなので、 沖高もそのような力を身につけることができる環境になってほしいです。
今後も全国に広がっていくんだろうなと思える活動だと思った。
変化が早く、激しい時代を背景とし、この講演内容があることを 深く理解できたように思います。

意見内容

高校三年間で子供から大人へ成長していく。その期間を島で生活することで島に対する愛着等が生まれてくる。それが将来島に帰ってきたいという想いにつながってくると思われるため、冲高はいつまでも存続させなければならない。

農業の島なので島に特徴に適した科（農業科や園芸科）があれば島から出ていく生徒も少なくなるなど思った。

刺激的でした。前に進もう。

藤岡先生の講演を昨年聞き、「高校魅力化」必要性を強く感じ、議会などで発言してきましたが、今回さらにその必要性を感じました。今後もぜひ、ご意見をお聞かせいただければと思います。

「大人の背中を子どもは見ている」という言葉が心に響きました。何かをするためには、まず捨てる。その勇気がやはり大切。余裕ができて新しい取り組みにつながっていく。

地域の力を集約することが大事だと感じた。もっと地元（自然・環境・文化）を知って、自分にできることから関わっていきたいと感じた。ぜひ、両町、冲高で作り上げていきたいと思います。また、高校だけでなく小中学校も関われば面白いと思う。

とても濃い話を聞くことができた。

将来必ずこの沖永良部島に返ってこようと思った。

大人の協調性が必要なので、協調性のない大人たちをその気にさせるにはどうするのか、どうすれば動くのか。

魅力化させる方法を大人たちが理解しなければならない。

また、高校生だけでなく中学生もターゲットにしては？

ゆくゆくは高校だけではなく、町の魅力化についても反映してほしい。

沖永良部島、高校にとって新たなスタートとなる予感がします。

人を動かすのは人なのだと思う。

持続可能な島をつくるために、このプロジェクトは効果的な手段である。

ただし、自分が高校生の頃を思い返してみると、周りが抱える将来の夢というのは個人によって多種多様で、必ずしもすべてを島で叶えるというのは難しい話であると思う。このプロジェクトを行うにあたり、そうした高校生に対してアプローチをしていく術を考えていくことも必要である。

また、一方で若いうちから地域資源や地域課題を地域学等で共有を図ることは将来、島で仕事を考えていくうえで、貴重な戦術の一部にできる気がします。

高校生の意欲を高める方法として、子ども達の中から案を出すことは大切である。そのためには、中学生からアクティブラーニング等地域に目を向ける基礎を作る必要があります。

高校魅力化はその下の中学生の変容が必要では？

意見内容

地域唯一の高校として、両町からご支援だけでなく、高校魅力化に資する企画まで立ち上げていただき大変感謝しております。公立高校においては藤岡先生がお話された通り、高校単独でできることには限界があり、しかしながら、できる限りの努力を傾注して、冲高生のために、ひいては両町の発展のために人材育成に励んでいます。本日の講演をスタートとして、今後も冲高の魅力化のために、両町と連携を深めて参りたいと思います。

島留学とは反対に、都会ではどのような学校生活をしているかを比べてみたく感じた。それによって島の良さを強く感じることはできるのではないか。

高校と地域、行政の関わりが薄い気がするので、「魅力化」のために地域交流会などを行えたらいいと思った。

1人1人考えること、思うことがもちろん異なります。

だから1人1人にあった教育、コミュニケーションをとることが必要。

高齢化が進み、子ども達が減ってきている中、このような子供たちのため、島のために色々な活動をしていることに驚きました。

島というハンディキャップにとらわれず、自由に将来なんにでも挑戦していきたい。地域と高校が連携して取り組んでいけたらと思う。

教育寮の考え方がいいなと思いました。

企画していくうえで金銭面が問題になったときどうすればいいか。

高校がなくなると、こんなにも周りに影響が出るのかと驚きました。

離島は最先端！！現在は特にコロナの影響もあって尚更、都会から地方に行きたい人は増えていると思うし、U・Iターン者、今の高校生、子ども達のためにも、島のためにも、高校魅力化プロジェクトは大切だと感じました。教育の質を上げ、地域と協力し、島ならではの魅力化プロジェクトを発信できたらなと思いました。

大変参考になる提言、実践例でした。

高校を魅力的にすることが島の活性化につながる素晴らしい取り組みです。

思考力、判断力、表現力を育てるためにも、やはり基本的な知識、技能を義務教育段階でしっかり身に着けることが大切だと考えます。

自分として何ができるのか前向きに考えるきっかけになりました。

高校魅力化について、本島の魅力探しは重要であると思う。

魅力探しの中で、高校生と地域がつながりやすい環境づくりを整備する必要があると感じ、例えば部活動と社会人連盟で練習試合や練習等を一緒にし、高校生に島でスポーツしたいと思ってもらうのも1つの例だと思う。

今後は高校生が知りたい、体験したいと思う仕事等を知り、行政等がその仕事を行う人々との仲介人となり、交流の場を広げていけたらと思います。

意見内容

今まさに、高校魅力化についてこれからの冲高進学率等を考えると、重要だと思います。

両町で取り組むプロジェクトなので、取り組み時の問題などがあればぜひ聞きたいと思います。

両町と高校が同じベクトルを向くために、保護者、地域も含め協議会の設立が必要かと。足波は確実に揃えるべきだし、両町とも総合戦略に詠うべきなので、今後検討すべきなのかと思う。単に冲高高校だけでなく、県教委の協力も仰ぎながら、県内で事例をあげれたらいいと思います。

本日は、ご案内いただきありがとうございました。沖永良部高校の魅力化が始まると与論島から冲高への流出もありえるのかな〜と危機感を抱きつつも、ぜひ、冲高で魅力化スタートし成功へ向かって欲しいなと思いました。群島のこどもたちの良い選択肢を増やすことは、群島の未来へ繋がることと思います。島を超えて、町を超えて、いい地域を創っていけたら良いかなと思いました。貴重な機会をありがとうございました。

地元の人材活用がまずは重要で外部人材の導入は慎重にすすめなければならないことを感じています。もっともっと、島んちゅが思いを発信して、子どもたちのために、地域のために力をあわせていかなければならないと思います。行政には、外部の人材を引っ張ってくるよりも、地域人材の育成の視点を大切に、施策展開していただくことを望みます。地域人材の育成は無駄にはなりません。魅力化、大切です。大変ですが大事なことです。行政と共に一緒に頑張っていきたいです。

大変魅力あるプロジェクトとは思いますが、地域によってはうまくいかなかった例とかはないのでしょうか。

高校魅力化プラス、小中学校と連携をとってプロジェクトを行ってる地域はないですか。

沖永良部島はスポーツが盛んな島でもありますが、教育とスポーツに取り組んでいる地域はないのでしょうか。

質問ばかりですみません。今回の公演で地域活性化の在り方を学べて非常に勉強になりました。